

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
豊かな心をもち、自分の良さを知り、人とつながり協働する子

堺市立八下西小学校
校長 豊田 昌利

令和7年度 重点目標 「一人ひとりが輝く、たのしい学校」
めざす子ども像 「未来をたくましく生き抜く児童」・自ら考え、仲間と協働しながら課題解決をめざす子
重点目標 ①確かな学び ②豊かな心・健やかな体 ③信頼される学校

確かな学びの現状	
・「全国学力・学習状況調査」及び「すぐくわオッヂ」の結果から、5年生の「算数」がほぼ府平均と同じ以外、全て府平均を上回っており、基本的な力は身についていると考えられる。特に6年生理科については、府平均を大きく上回っており、専科指導の成果と考えている。 「わくわく問題」も府平均を上回っていることから、複合的な問題に対する「読解力」や「表現力」も身に付きつると考えられる。今後は直接的な対話を充実させながら、ICTをさらに効果的に活用して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざしていく。 ・单元テストの全学年の平均点は3教科とも83%以上だが、学級や教科によるバラツキがあり、引き続き学力の底上げを図る必要がある。 ・自主学習ノート等による主体的な学びは定着しており、今後は児童が自分ごととして学びを捉えらるような指導を工夫していく。	
・「全国学力・学習状況調査」(6年生)において、「自己肯定感」に対する肯定率が91.7%と府平均の84.0%を上回り、堺市学習生活状況調査(3年生以上)でも全校平均88.5%で、全学年とも市平均の83.8%を上回っている。様々な行事や縦割り班活動での実施による成果が表れており、今後も取組を継続しながら、各担任による声掛けや児童相互による評価等の充実も図る。 ・昨年度の新体力テストの結果では男女各40項目中男子29項目、女子18項目市平均を上回っており、少しずつではあるが課題である女子の体力向上にも改善が見られた。外遊びへの声掛けや委員会活動、ICTを活用した指導などの取り組みを継続していく。また、ゲーム・動画視聴についての課題もまだ残されており、保護者・関係機関との連携も含めた啓発活動を図っていく。 ・「学校へ行くのが楽しい」と感じている児童の割合が昨年度同様95%と高いため、認めあい、支えあう学級づくりや学年集団づくりをさらに進めていく。	

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (~10月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	授業改革	一人ひとりの授業力の向上	・子どもたちが「わかる」授業を実施(「個別最適な学び」・「協働的な学び」への授業改善) ・授業力向上に向けた研究授業や研修の実施	児童アンケート「授業は分かりやすい」への肯定的回答率など 研究授業の実施状況(全学年1回以上), 研修の実施状況(年3回以上)	児童アンケート結果 実施記録	2月	○	・肯定的回答95%→(70+25)※95%(64+31) ・個別最適及び協働的な学びに向けた授業づくり(子どもが「自分事」として学びに向かえる授業に向けて) ・研究授業実施3回(4・2・6年), 夏季研3回実施(学びのコンパス, 学級経営, 特別支援)		
	学力向上	確かな学力の育成	●基礎学力の定着及び学習意欲の向上 ・PCの日常的・効果的な活用及び校内研修の充実(「自ら学びを進める授業づくり」に向けて) ICTスキルの指導及び活用場面の工夫 ★ ・中高学年における教科担任制の推進 ・「語彙力」の向上及び自主学習の工夫改善	全国学力・学習状況調査及びすぐくわオッヂの結果 ICT活用能力チェックリスト達成率80% 国語・算数・理科・社会の単元テスト平均83%及び50%以下の児童の割合10%以下 実施状況及び漢字まとめテスト平均85%	調査結果 チェックリスト 単元テスト結果	2月	○	・全国学テ(6年)国語土0, 算数-1p, 理科土0 ※堺市平均比較 ・「すぐくわ」(5年3教科+わくわく, 6年わくわく)は全教科市平均以上(+2~10p) ・タブレット活用週3回以上100%(2年以上) ・テスト平均国語88, 算数87, 理科86, 社会86 50%以下全クラス10%未満 ・俳句大会2回実施, 漢字まとめテスト平均86		
豊かな心・健やかな体	人権尊重の基盤に立った豊かな心の育成	人権教育等の充実 ・「考え方、議論する道徳」への授業改善 ・校長講話等の工夫と充実	実施状況(人権実践報告書の作成等) 児童アンケート「命の大切さや思いやりなどについて学んでいる」への肯定的回答率など 道徳の振り返り内容	実施記録 児童アンケート結果	2月	○	・人権実践交流を職員会議で実施 ・肯定的回答98%↑(79+19)※96%(74+22) ・道徳は、自分ごととして考え、ペア等で伝え合った後で必ず全体交流 ・講話は毎週火曜日朝礼で実施			
	自己肯定感及び社会性の向上	・縦割り班活動(異年齢集団)の充実 ・仲間づくり、集団作り等学級活動の充実 ・行事等いろいろな機会を捉えての評価	実施状況(縦割り班遊び, 縦割り掃除等) 児童アンケート「自分にはよい所がある」への肯定的回答率など	実施記録 児童アンケート結果	2月	○	・縦割り班遊びは1学期から実施(月2回) フェスティバル及び縦割り掃除の実施 ・肯定的回答92%↓(61+30)※93%(69+24) ・行事後の評価の工夫(話, 賞状等)			
	いじめの防止と早期対応	・定期的ないじめアンケートの実施と、いじめ発生時の早期対応	実施状況(年4回) 児童アンケート「学校は楽しい」への肯定的回答率など	実施記録 児童アンケート結果	2月	○	・現時点でいじめアンケート2回実施済 ・肯定的回答97%↑(69+29)※96%(73+23)			
	体力の向上	・授業や委員会活動等での体力向上の取組 ・ICTを活用した運動技能の向上	スポーツテスト結果 実施状況	体力テスト 授業観察	2月	○	・体育委員会の取り組み開始(縄跳び) ・ICTの効果的な活用の広がり ・体力テスト種目は全体的には市平均並み(ただし低学年女子に課題あり)			
	健康な生活(正しい生活習慣)	・「保健だより」の作成と配付による啓発 ・健康な生活に関する掲示物の作成と掲示 ・保健指導の定期的な実施及び充実	実施状況 児童アンケート「毎日早寝早起きをし、朝ごはんもきちんと食べている」への肯定的回答率など	実施記録 児童アンケート結果	2月	○	・保健だより、掲示物は定期的に実施 ・保健指導は計画的・定期的に実施 ・肯定的回答85%↑(57+28)※84%(48+36)			
信頼される学校	小中9年間の児童・生徒の成長を図る小中連携の推進(学校群)	学校群の年間計画に基づく実践 ・小中授業交流、小中合同研修 ★ ・児童生徒の学習や部活動交流(小小/小中)	実施状況	実践報告	2月	○	・6月南八下小、11月本校で合同研修予定、年間計画作成時の連携済 ・中学校年3回、小学校年6回の授業研修予定 ・特別支援学級見学、部活見学実施予定			
	安全	危機管理・安全確保	・学期毎の避難訓練と毎月の安全点検の実施 ・教職員対象の研修の実施及び充実	実施状況 児童アンケート「地震や火事などの際にどのように行動すればよいのか学んでいる」への肯定的回答率など	実施記録 児童アンケート結果	2月	○	・避難訓練実施済(火災、地震), 教職員対象不審者対応訓練実施済(夏休み中), 地域防災訓練参加予定 ・肯定的回答98%↓(84+14)※99%(86+13)		
	公開	学校情報の公開	・学校便り、学校HP等による適切な情報発信 ・連絡アプリ等ICTの効果的な活用 ・「働き方改革」を意識した地域連携の工夫	学校だよりの発行状況(R6年度:毎月発行) 学校HPの年間記事数(R6年度:2,626件) ※HPは2月末現在 実施状況及び時間外勤務平均40時間以下	実施記録	2月	○	・学校だより月ごと+1枚発行 ・10月末HP記事数1540、R6比約92%↓ ・働き方改革を意識した地域連携の実施及びICT活用による効率化で平均約31.5時間		

※割合の合計の数字は四捨五入のため、ずれる場合有

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------